

## 地球温暖化対策設備導入補助金制度の目的

- 市民に対する地球温暖化対策等の環境意識の啓発
- 温室効果ガスの排出量を低減する設備の導入による地球温暖化対策の促進
- 温室効果ガスの排出量を低減する環境にやさしい住宅並びに集会所及び地域住民のコミュニティ活動のための施設の普及及び地域の活性化

岸和田市地球温暖化対策設備導入補助金交付要綱第2条より

## 現制度における課題・問題点等

- 予算の上限があるため、公平性の観点から配達記録がわかる方法（郵送）でのみ受け付けており、また紙媒体でのみの申請である。
- 交付申請や実績報告に伴う提出書類（申請書及びその他添付書類）が多く、事務手続きが煩雑である。
- 太陽光発電機器であって住宅に設置する場合には、太陽電池モジュール※1の公称最大出力の合計値が10キロワット未満（家庭用を想定しているため）であることが補助対象要件のひとつであるが、住宅取付用の太陽光発電機器であっても太陽電池モジュールの公称最大出力の合計値が10キロワットを超える（パワーコンディショナー※2の定格出力が10キロワット未満）ものもある。

など

今後の脱炭素社会に向けて意義のある制度となるよう、社会情勢や国・府の動向との整合性の確認、また他市町村における類似補助制度との比較もしつつ、補助対象要件や申請方法等についての見直しを行う必要性がある。

- ✓ 自治体による太陽光発電システム等への補助は減少傾向にある
- ✓ 太陽光発電システム等の導入に限らず、カーボンニュートラルに向けたZEH※3化推進の必要性

などを鑑みながら、検討

※1 太陽電池モジュール…受光した太陽光の光エネルギーを電気エネルギーへ変換できる、太陽光発電システムを構成する部材。いわゆる太陽光パネル、ソーラーパネルのこと。  
※2 パワーコンディショナー…太陽電池で発電した直流電力を家庭やビルで使える交流電力に変換する機器のこと。  
※3 ZEH…net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語で、「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味。家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のこと。